

行政視察を報告します

朝倉市議会では、各常任委員会にて年に一度先進地で、研修を行っています。

総務文教常任委員会

沖縄県名護市
南城市
浦添市

「地域づくり」「行政改革」

沖縄県を視察

平成22年11月17日～19日

【沖縄県名護市】

小中一貫教育・小学校統廃合について

名護市では、少子化による複式学級の課題解消のため4つの小学校を統合しました。

今後、再び複式学級に陥らないための特色ある学校づくりとして、同じ地域にある中学校と施設を一体にした小中一貫教育校の開校（平成24年4月）に向け取り組んでいます。

【沖縄県南城市】

地域みんなで授業参観・学校開放について

南城市では、市全体で学校公開日を設定することに

よって、保護者や地域住民の学校教育に対する理解と

関心を深めるとともに、開かれた学校づくりの一層の推進と幼児児童生徒を市民ぐるみで育成しようという

機運を醸成しています。**補助金の適正化について**

また、南城市では、補助金を交付することに対し、補助の目的を含め、市民に納得してもらえないものとしなければならぬとされています。限られた財源を効率的・効果的に使うことが必要不可欠であり、その有効性を同一基準により客観的に評価し、補助金等の透明性、公平性を確保しています。

【沖縄県浦添市】

地域通貨を使った協働のまちづくり事業について

浦添市では、市の推進する各事業の実施や地域でのボランティア活動などに市民の多くが参加しています。

市民と行政が協働することにより、明るく住みやすい街づくりが期待され、こうした市民参加を評価し、その活動のお礼として市が地域通貨を付与しています。

この対価を地域の協賛事業所で利用することにより経済・資源循環の促進と活性化につなげています。



南城市にて

環境民生常任委員会

滋賀県東近江市
福井県小浜市
坂井市

「生涯食育」で人づくり

健康長寿をめざして

平成22年10月25日～27日

【福井県小浜市】

「食」を起点とした総合的なまちづくり

平成13年に食のまちづくり条例を制定し、平成15年建設の食の文化館で、赤ちゃんからお年寄りまですべての人を対象とした生涯食育事業に取り組んでいます。

特に味覚や脳、感受性が発達する幼児期の食育は重要と捉えてあり、保育園児や幼稚園児は必ず、幼児だけで料理をつくる「キッズキッチン」に参加します。親は手も口も出せず見守るだけです。これまでに5千人の幼児がキッズキッチンに参加しており、「この子

達が大人の食育を変える」と言われました。小・中学生も必須です。義務食育という言葉を使われませんでした。

ベビーキッチンや新生活応援隊、健康に食べよう会、ふるさと料理を楽しむ会、食を生かした予防教室、介護食の講義と実習などさまざまなメニューがあり、市民一体となり健康長寿に取り組まれ、条例が市民の中に生きていると感じました。

【滋賀県東近江市】
菜の花エコプロジェクトと次世代エネルギーパーク構想について

市民と協働で太陽光発電やバイオマス事業に取り組み、エネルギーの自給率ア

アップと低炭素社会への仕組みづくりに取り組んであります。近江商人という言葉が何度も発せられ、いろいろな事業が地域経済の活性化に生かされていきました。

【福井県坂井市】
納税コールセンターについて

未納者に電話するともに、納税しやすい仕組みを作り、納税率を上げてあげました。

いずれの視察先でも、担当者の熱意が印象的でした。



東近江市にて

建設経済常任委員会

群馬県渋川市
千葉県印西市
茨城県笠間市

地域づくりへの活性化 成功のキーワードを探る

平成22年10月27日～29日

〔群馬県渋川市〕

伊香保温泉再生事業

伊香保では、温泉地の風情と歩く観光による石段街を核にした魅力スポットの多角的整備と湯煙の上がる温泉情緒豊かな環境や景観を大切にしたり取り組みが進められていました。

365段の石段街や温泉地全体を循環する誰でも乗車できるタウンバスを運行し、まちの回遊性と休憩場所や公衆トイレを整備し、坂に優しいまちづくりへの整備ソフト面では石段ひな祭りや大道芸、石段街を眺望するつつじ祭りなど、官民協働による取り組みが進められ、以前の賑わいが取り戻されつつありました。

〔千葉県印西市〕

県立印旛高等学校

跡地活用事業

印西市では、印旛高校移転に伴う地域の活性化を目的に、実現化方策作成プロセスに沿って跡地活用の取り組みが進められていました。プロジェクト方式による庁内検討委員会では、関係各課が役割を分担し、議会との合意形成や跡地活用検討市民会議への説明など、丁寧に取り組みされていました。平成22年度は活用基本計画を策定し、23年度に用地取得へ議案上程との説明を受けました。また市民会議などから、不足している施設の早期利用の要望が高く、野球場などがすでに暫定活用されていました。

〔茨城県笠間市〕

笠間クラインガルデン事業

笠間クラインガルデンは

農村の高齢化や就農者減少に伴い、地域・農村の活性化に向けた都市住民との交流を目的に、日帰り宿泊施設付市民農園を平成14年度より開設されています。当初行政が運営し、経営見通しが立った後、管理運営をJAへ移管、今後は一般公募予定との説明を受けました。農園利用者や地域住民との交流も各種イベント等で深め、利用後は移住する方もいるなど事業の目的が果たされていました。今回視察では地域づくり成功のキーワードを学びました。



渋川市にて

職員給料・期末勤勉手当を 削減する条例を可決

第7回 臨時会（11月30日）

議員期末手当も 引き下げへ

11月30日に第7回臨時会が招集され、職員の給与改定及び人事異動に伴う一般会計並びに特別・企業会計の補正予算9件と、それに伴う市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例1件の合計10件の議案が上程されました。

職員の給与については、人事院勧告に基づき改定される国家公務員の給与に準じて定めています。今回の主な改正内容は、給与を40歳台以上の中高齢層に限り、平成22年4月にさかのぼって平均0.1%引き下げるとともに、期末勤勉手当を年額0.2月分引き下げるものと

です。なお、議員の期末手当は職員に準じるため、今回の改定により、議員に支給する期末手当も引き下げられます。

◆◆◆

今回の人事院勧告では、55歳を超える課長級以上の職員の給料月額をさらに減額する勧告がなされています。しかし、執行部からは、そのとおりに改定すると、同じ年齢で課長補佐級の職員の給料月額がそれを上回ってしまうことになるため、実施を見送るとの提案がなされました。

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

◆◆◆

